

## 都市政策・地域経済ワークショップ1 第2回 議事録

【テーマ】トイレと地域づくり -能登半島地震での課題も含めて-

【講師】白倉 正子 先生

担当教員：永田 先生

【日時】2024年4月19日（金）18:30～21:20

【場所】大阪公立大学大学院 都市経営研究科 梅田サテライト 101教室

【参加者】都市政策・地域経済コース M1 学生 他

### ■ 講義概要

22歳でトイレの専門家を志し、SNSのFacebookに10年間1日も欠かさずトイレネタを投稿するトイレ愛を、様々な事例や視点からまじめにユニークに語って頂きました。

内容としては世界と日本のトイレ、行政機関の動きとトイレの学び方を中心に、近年の多様な視点や能登半島地震など災害時の課題も含めて、豊富な資料と現地の方の声を取り上げて身近なこととして考えさせて頂く時間となりました。

### ■ 講義内容

#### 1. 講師プロフィール

- ・昭和48年 群馬県生まれ（50歳）
- ・1996年 多摩大学 経営情報学部出身
  - トイレの専門家になることを目指す。
- ・神奈川県横浜市 在住
- ・トイレを分かりやすく伝えるのが私の使命です。

#### 2. 世界のトイレ トイレの世界

- ・世界には安全できれいなトイレを利用できない人が34億人
- ・屋外排泄をすることで、そこに集まるハエが食品にも集まり、病気になる。
  - 2兆円の経済的損失との試算もある
- ・それでもピンとこない。日本のトイレは世界最高レベルだから。
  - その日本が変わることが、世界にインパクトを与える。
- ・トイレのイメージの変化
  - 「汚い」から「おもてなし」へ。
    - 例「外国人は日本に来て温水洗浄便座を使いたい」
- ・1986年11月10日（トイレの日）

- 毎年この時期に「全国トイレシンポジウム」を開催
- ・毎日トイレに何回行きますか？
  - 約 80 年間で 1-3 年間はトイレに滞在している。
  - 近年は長時間滞在が問題視されている。
- ・公共トイレと公衆トイレ
  - 公共トイレは個人トイレ以外全て
  - 公衆トイレは国や自治体が税金で作るトイレ
- ・多様性というが、トイレを使う人ってどんな人がいるか？
  - 赤ちゃん、子ども、成人男女、トランスジェンダー、妊娠中・障がい者・高齢者・外国人など…。様々なニーズや課題がある。

### 3. 行政機関の動きとトイレの学び方

- ・国でもトイレに注目
  - 内閣府主催の「トイレ大賞」(2016)
- ・トイレに関する法律的観点
  - 日本には公衆トイレ法はない。(韓国は 2004 年に制定)
- ・バリアフリー法の改正
  - 多様な使用者へ配慮(難しいこともある。例：点字ブロックと車椅子)
- ・広めのトイレの名称
  - 「バリアフリースイートイレ」に統一
- ・国交省が行ったアンケート (H28)
  - 公園のトイレ以外は使う。78%が洋式を選ぶ。
- ・公衆トイレが抱える特有の悩みや課題。
  - 厳しい現実(予算が少ない、マナーが悪い・不特定多数の人が使う)
- ・お勧めの本
  - 「トイレがつくるユニバーサルデザインなまち」など
- ・渋谷区トイレ環境整備基本方針 (H30)
  - ジェンダー問題に熱心な渋谷区の動き

### 4. 近年の多様な視点と課題

- ・公共トイレ課題は社会の鏡。時代に寄り添う。
- ・白倉先生がかかわった事例① 群馬県「ぐんまビジタートイレ」
  - 認証基準をつくり、2年ごとに審査。オストメイト(人工肛門)用の場所など検索して、旅行計画の中継点を考えることができる。
- ・白倉先生がかかわった事例② 訪日外国人のトイレ対策
  - 外国人は日本のトイレを正しく使えないケースがある。

理由は、海外では水で流さない人もいる。しゃがむ位置が反対。

水の流し方がわからない。日本語が読めない。ボタンが多すぎる等

→紙を貼る。絵か外国語で使い方を示す。

- ・白倉先生がかかわった事例③ 「千葉県の取組み「C+1」

→トイレセミナー開催。(家庭用トイレのプロはいるが、公共トイレのプロは少ない) YouTube 配信。尿汚れはブラックライトで確認できる。

悪臭と詰まりは尿石。

- ・コンビニのトイレの公共化

→神奈川県大和市などが実施。きっかけは高齢の市民から「公園のトイレは使いたくない。コンビニのトイレを堂々と使いたい。」

→使用マナーやコストの問題がある。自治体が適切な費用負担や警備会社と連携などが求められる

## 5. 近年の話題と好事例

- ・渋谷区のトイレ問題

→ジェンダーレストイレに対して「女性専用トイレが無いじゃないか！」

- ・経産省の職員のトイレ使用訴訟の最高裁

→「性同一性障害の職員の希望を認める。ただし、公衆トイレは別途議論すべき」と判断された。

- ・全体の考え、トランスジェンダーの人の考え、ノーマル性の人の考え

→まだ新しい視点のため、浸透しておらず、戸惑っている人が多い。

しかし、予算も空間的広さも限られているので、対応は時間がかかるだろう。

- ・よくある（古い）公衆トイレ

→コンパクトで、経済的な組み合わせは、小便器+大便器&広い空間

- ・現時点での専門家や関係者の意見

→満点はありえない。60点を目指すべき。

→性犯罪の可能性や不安がなくなることはない。

→（白倉先生）まだ経験を積み、学ぶべき時期。いろいろ試してみたら？

- ・トイレ清掃員のジェンダー問題

→なぜ男子トイレを女性が清掃するのか？などの課題を調査中。

- ・震災時のトイレ対策

→マンホールトイレ、仮設トイレ、仮設トイレ・車載トイレ・自己処理型トイレなどを、発災時から時間軸を考慮しつつ組み合わせるべきだ。

→仮設トイレやトイレカーがあっても、バキュームカーの汲み取りが必須。ただ、バキュームカーの台数が減っている。

- トイレカー（トラックの荷台がトイレ）
- 簡易トイレは小さいので保管も楽で、廃棄も難しくない。
- 汚物のみを集める町内会の告知文。排泄物（特に大便）は時間が経過するとメタンガスが発生するために膨らむ。それをゴミ収集車に投入すると、プレスされて破裂し、汚物が散乱することがあるので、一般ごみとは別に保管し、回収し、その際にはプレス式ではないゴミ収集車を選択することが望ましい。
- 震災時のトイレ対策の勉強方法は、内閣府、国交省、日本トイレ協会の本や日本トイレ研究所主催のセミナーなど色々あるので、興味がある人は参考にしてほしい。

## 6. 質疑応答

Q) トイレ研究者になるまでの経過は？

A) 卒論を書いたとき、それで終わりになるのがすごくもったいなかった。また元々起業家を志していた。最初は経済的な面も含めてとても不安で、周囲にも理解されなかった。しかしいつか必ず分かってもらえる日が来ると信じていた。

最初は親の仕送りで生活するしかなかったが、必ず一人立ちすると決意していた。

マスコミには最初から面白がられた。しかしまだ十分な実力がない時代に色々な質問をされるのが怖かったので、日本トイレ協会に入会し、勉強し、会員に名刺をもらって、色々教えてもらった。今ではトイレ業界に恩返しするつもりで話をさせてもらっている。こうしているうちに、最初反対していた親の態度も変わってきた。

TBS「マツコの知らない世界」に出演したことがあるが、その番組に出演経験のあるマニアの人たち（画面の右側の人）と懇親を深めたことがあった。その席で「実績を表現できる分かりやすい数値があると良い」アドバイスされて、facebookの連続投稿を始めた。おかげで人脈も広がり、協力者も増えて助かっている。

Q) 先生一押しトイレは。

A) 六甲山のトイレを見てきた。自己処理型トイレで非常によい。そういうトイレ技術で海外を救いたいものだ。

一押しはミネラルイオントイレ。1万回使える。経費が10分の1になった。

排泄物の無機化（無害化）のメリットとして、下水道が無い場所で有効。

お薦めトイレといっても、ジャンルによって異なる。

例えば、ネーミングライツトイレ（地域企業に命名をさせるトイレ）や、トイレ内に液晶画面を付けて、長時間滞在防止や広告宣伝に役立つトイレは面白い。また

トイレを観光資源として「トイレツーリズム」を実施している地域もある。また新宿駅小田急線西口地下1Fのトイレは、使用者に使いやすいので、気に入っている。ユニークなトイレとしては、岐阜県の「織田信長&濃姫トイレ」や愛知県刈谷市のハイウェイオアシス「4億円のデラックストイレ」が印象的である。

Q) 女性だけがトイレに待ち行列ができる問題は どうやって解決すべきか？

A) 根本的にはトイレの数が増やさないといけない。昔は男性が社会に出ていて女性が少なかったが、今は女性がたくさん社会に出てきてトイレが足りていないからだ。ただしせっかく数を増やしても、満空情報が行列の先頭者に見えないと意味がないので、ドアを内開きタイプにするとか、トイレ全体をコの字型のレイアウトにし、開きブースが見えるようにすると回転率が向上するだろう。

Q) 「日本人は公共トイレの話題になると優しくなくなるのか」

A) トイレを知らない人はほとんどいない。共通言語として世界中どこでも簡単に語り合うことができる。試行錯誤しながら進めていくことが大切なのは。トイレに行かない人はいない上に我慢できない存在なので、互いにトイレで感じるハードルや偏見をなくし、譲り合う文化の象徴になってほしいものだ。

以上

(議事録作成：都市政策・地域経済コース 修士課程1年 小川 弥真人)